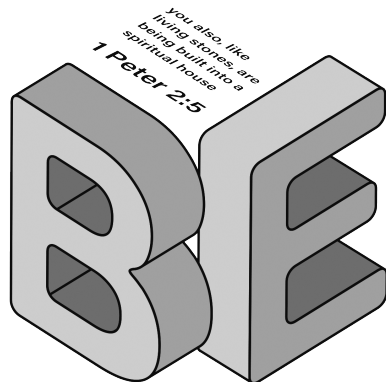


YOUTH MANNA



あなたがた自身も生ける石として霊の家に築き上げられ、神に喜ばれる霊のいけにえをイエス・キリストを通して献げる、聖なる祭司となります。
(ペテロの手紙第一 2章42節)

2025/10/27(月)

エレミヤ 25:15-38

●神様は、イスラエルの民に対して憤りの杯を飲ませ、わざわいを下すと預言された(15-16、31-33)。

★あなたは、預言の祈りを受けたことがあるだろうか。預言の祈りで、将来に対してこのような絶望的なことを語られたらどう思う？また、どんな行動を取るだろうか。

イスラエルの民は、エレミヤの語る言葉には耳を傾けず、自分の耳に心地よい言葉に耳を傾けていた(エレミヤ23:16-18)。信仰者に求められる姿勢とはどんな姿勢だろう、考えてみよう。

2025/10/28(火)

エレミヤ 26章

●1-6節を読もう。神様の御心は、ユダが滅ぶことだろうか？それとも立ち返って主の道を歩むようになることだろうか？

●エレミヤは捕えられ、死刑だと言われてしまう。もし君だったらどんな気持ちになるだろう？エレミヤは人々に何と答えただろう？神様に信頼することについて考えてみよう。

●人々がエレミヤを解放したのは、本当に神からのことばだった場合のための保険にすぎなかった。私たちはどうだろう？もし本当だったらの保険として信仰を持つのと、神に心から従って歩む生き方の違いを考えてみよう。

2025/10/29(水)

エレミヤ 27章

●神様は、ユダだけでなく、周辺の国々にもことばを送った。それは、バビロンの王に仕えるなら滅びを免れるという内容だった。この預言に対して人々はどんな反応をするか想像してみよう。もしあなたがそこにいたらどう思うだろうか？

●他の預言者たちは、楽観的な預言をしていて、人々はその偽りの希望に信頼を寄せていたよ。神様のことばを避けて、自分に都合の良いことばかり聞こうとするにはどんな危険があるだろうか。

●主が語られたことに従おう。その心を持って神様のことばに耳を傾けよう

2025/10/30(木)

エレミヤ 28章

●ハナンヤは何年のうちに主の宮の器を戻すと言っているかな？3節

●神様は木のかせの代わりに何を作るといわれたかな？13節

●この箇所は神様から語られてない預言者ハナンヤが『バビロン捕囚なんて2年で終わる』って嘘をつく箇所だよ。その人の言葉が、神様の言葉か嘘かはその後の現実から判断できるんだ。自分に都合の良い言葉は信じたくなくなってしまうけれど、この世で信じられるのは神様だけだよ。神様はどう言っているか考えてみよう。この世の言葉に惑わされず、神様の言葉を聞くことができるように祈ろう！

2025/10/31(金)

エレミヤ 29:1-14

4-7vを読もう。捕囚された民に、捕囚先のバビロンでどのように生きるか、語られているよ。

●バビロンで何をするように言われているかな？特に7vには何とある？

●捕囚先の町のために祈るのはなぜだろう？7v

●願っていない、自分の希望とは違う所に行くことになったり、所属したりすることはあるよね。そんなときどうしたら良いか学べる箇所だ。今のきみはどうだい？

2025/11/1(土)

エレミヤ 29:15-32

エルサレムの人々は捕囚があった時も、自分たちは滅ぼされないという間違った希望に頼って惑わされてしまっていたんだ。そして預言では偽の預言をした人への裁きも宣告された。エレミヤを通して語られた神様のことばに激しく反発していた預言者や指導者たちがいたことが分かるね。

だけど、イスラエルの人々は「捕囚は長く続く」というエレミヤが預言したことばによって、自分たちの罪に気づき神様のことばを真剣に求めるようになったんだ。バビロン捕囚そのものは悲しい出来事だけど、それを通して彼らは神様に立ち返った。

・君にとって「わざわい」だと思うことってどんなこと？

・そのことを通して神様は君に何を教えてくださっているだろう？祈って聞いてみよう！

2025/11/2(日)

エレミヤ 30章

この箇所では、イスラエルとユダの回復が約束される一方で、その前に厳しい苦しみがあると語られます。神様は民を懲らしめつつも、完全には滅ぼさず、癒やしと回復を与えられます。やがてイエス様が現れ、神様の怒りを引き受けてくださり、私たちは救われました。

私たちが受ける苦しみは「のろい」ではなく、神様の愛による「訓練」であり、祝福へと導くものです。訓練を受けて成長していきましょう。